

「ごみと資源の総量」の削減状況について

1 「ごみと資源の総量」の実績

平成29年度における「ごみと資源の総量」については、21年度に比べ5.0%以上削減することを目標としています。

平成29年度4月から12月までの「ごみと資源の総量」（速報値）は、約93万トンで、21年度の同時期に比べ5.4%減少、28年度の同時期に比べ1.2%減少しています。

表1 平成29年度4月～12月のごみと資源の総量（速報値） 【単位：トン】

	ごみと資源の総量						
		家庭系			事業系		
		ごみ量	資源化量 ^{※1}		ごみ量	資源化量 ^{※2}	
29年度	929,497	654,774	448,324	206,449	274,723	235,824	38,899
21年度差	▲ 52,987 (▲5.4%)	▲ 63,291 (▲8.8%)	▲ 24,628 (▲5.2%)	▲ 38,664 (▲15.8%)	10,304 (3.9%)	▲ 10,776 (▲4.4%)	21,080 (118.3%)
28年度差	▲ 11,457 (▲1.2%)	▲ 8,964 (▲1.4%)	▲ 3,794 (▲0.8%)	▲ 5,171 (▲2.4%)	▲ 2,493 (▲0.9%)	▲ 152 (▲0.1%)	▲ 2,340 (▲5.7%)
21年度 (基準年度)	982,484	718,065	472,952	245,113	264,419	246,600	17,819

※1 家庭系の資源化量に含まれる資源集団回収量については、29年11月～12月分を推計しています。

※2 事業系の資源化量は、学校給食残さの資源化量と事業者が生ごみやせん定枝を資源化した量の合計です。

※ 端数処理の関係で合計が一致しないことがあります。

2 実績を踏まえた今後の取組

本年度はヨコハマ3R夢プラン第2期推進計画の最終年度です。12月までの実績では、「ごみと資源の総量」は着実に減少しておりますが、例年は第4四半期に増加する傾向にあります。このため、引き続き目標達成に向けて気を緩めることなく各事業に取り組んでいきます。

一方、第2期推進計画の策定時に比べ社会を取り巻く様々な環境が変化しているため、3R夢プランは新たな展開を求められています。このため、次期推進計画では、公民連携によるリサイクルの活性化や多角的な視点からのプロモーション展開等により、市民・事業者と一体となった取組をより一層積極的に推進し、ごみの減量、特に食品ロスの削減を進めていきます。

<参考>

【参考】平成29年度4月～12月の家庭系燃やすごみ量 各区の実績（速報値）

【単位：トン】

	29年度 燃やすごみ量	21年度差	増減率（H21比） （%）	28年度差	増減率（H28比） （%）
鶴見	32,263	▲ 1,031	▲ 3.1	▲ 38	▲ 0.1
神奈川	26,079	▲ 1,886	▲ 6.7	▲ 238	▲ 0.9
西	10,617	▲ 679	▲ 6.0	4	0.0
中	17,319	▲ 1,646	▲ 8.7	▲ 66	▲ 0.4
南	22,987	▲ 2,715	▲ 10.6	▲ 133	▲ 0.6
港南	24,644	▲ 2,060	▲ 7.7	▲ 337	▲ 1.4
保土ヶ谷	24,049	▲ 2,498	▲ 9.4	▲ 356	▲ 1.5
旭	29,847	▲ 2,102	▲ 6.6	▲ 407	▲ 1.3
磯子	19,469	▲ 1,352	▲ 6.5	▲ 93	▲ 0.5
金沢	23,121	▲ 2,333	▲ 9.2	▲ 277	▲ 1.2
港北	36,779	▲ 936	▲ 2.5	▲ 73	▲ 0.2
緑	20,413	▲ 617	▲ 2.9	▲ 221	▲ 1.1
青葉	34,898	▲ 1,269	▲ 3.5	▲ 394	▲ 1.1
都筑	23,291	61	0.3	▲ 390	▲ 1.6
戸塚	30,901	▲ 2,181	▲ 6.6	▲ 10	▲ 0.0
栄	14,385	▲ 1,149	▲ 7.4	▲ 168	▲ 1.2
泉	18,548	▲ 346	▲ 1.8	▲ 195	▲ 1.0
瀬谷	15,040	▲ 486	▲ 3.1	▲ 124	▲ 0.8
18区	424,651	▲ 25,226	▲ 5.6	▲ 3,516	▲ 0.8